

木の駅八千代との対話集会

場 所：上根集会所（八千代町上根）

開催日：2025年3月16日

参加者：10名



<テーマ>

安芸高田の里山を守り・活用し・安全なまちづくりを目指す

<主な内容>

(1) 100年先の将来を見通した森林整備・管理に関する安芸高田市森林基本条例の制定

【市長コメント】

安芸高田市の総面積のうち森林面積は8割うち天然林が7割、人工林が3割を占めています。森林への公益的機能（カーボンオフセット等）への期待は高まっていることから、市、森林組合、森林所有者が連携し計画的かつ、継続的な森林整備を推進することを目的とし、令和7年度森林集積計画調査を予算化しています。

しかしながら森林基本条例を制定して、天然林の管理までは今のところ想定していません。課題として認識はしていますが、生活様式が変わって山へ入ることが無くなった現代社会で、かつ天然林が大半をしめる本市にとっては、効果的な啓発活動等を検討していきたいと思えます。

(2) 里山の整備を市の事業として位置付ける

【市長コメント】

森林整備をしていくうえで、向原町、八千代町以外の山林について国土調査未実施の山林があり課題となっていますが、令和8年度以降、森林整備が必要な人工林について、森林環境譲与税を活用したリモートセンシング（航空レーザー測量等）技術による境界明確化を図り、森林整備を進めていく方針です。

(3) 森林環境譲与税の有効活用を図る

【市長コメント】

安芸高田市森林環境譲与税活用方針に基づき令和7年度より森林作業道の開設、既設作業道の修繕について補助金制度を制定する予定です。

今後も必要性に応じ活用方針に基づき、創設していく予定です。

(4) 里山活用センターの設立を目指す

【市長コメント】

里山活用センターの設立は、人員不足等により難しいと考えています。

当面の課題解決としては、令和6年4月1日から相続登記が義務化されており、森林の土地所有者届出制度も浸透してきて、経年により解消していく方向です。

また、森林所有者と施業者のマッチング等については、令和7年度からの森林集積計画調査を順次行うこととしており、人工林所有者の意向調査を実施し、経済林を集積し森林施業者等のマッチングを図ります。

(5) 地域おこし協力隊の募集について

【市長コメント】

自伐型林業の推進について、広義な観点で広島県内での林業従事者の数がここ30年で1/3まで減少していましたが、近年は増加傾向に転じています。広島県内における林業への新規就業者は毎年50名程度で推移しています。（半数は森林組合）

安芸高田市としても、市内の高等学校を対象とした学識者による講義を行い、地域に根差した林業者育成を進めるよう検討していきます。

(6) 作業道設置に対する補助及び機械器具類の購入に対する補助制度創設について

【市長コメント】

安芸高田市森林環境譲与税活用方針に基づき令和7年度より森林作業道の開設、既設作業道の修繕について補助金制度を制定する予定です。

機械器具類の購入に対する補助については、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活用を検討してはどうでしょうか。